

2014年1月24日
東京汽船株式会社

洋上風力発電アクセス専用船 ”JCAT ONE”の供用

当社は、「福島復興・浮体式洋上ウィンドファーム実証研究事業」（経済産業省資源エネルギー庁所管の浮体式洋上風力発電実証実験）を受託している「福島洋上風力コンソーシアム」に対して、去る2013年12月5日から、洋上風力発電施設へのアクセス専用船（送迎・乗降用交通船）“JCAT ONE”（ジェーキャットワン）を供用しております。

JCAT ONEは、福島県・小名浜港と福島県沖に設置されている洋上風力発電施設（風力発電浮体およびサブステーション）との間で、同施設のO&M（オペレーション・維持管理）要員を安全に送迎・乗降させる業務に携わっております。

JCAT ONEは、オランダの造船所 Veka Shipbuilding B.V.が建造した新造船で、欧州における標準的な Wind Farm Support Vessel（洋上風力発電支援船＝洋上風力発電への要員送迎を主目的に設計された船舶）の仕様を持つアルミ合金製の双胴船（Catamaran）です。当社は、購入後に日本で改修工事を施しNK（日本海事協会）の船級を取得しました。日本で初めて就航する Wind Farm Support Vessel となります。

JCAT ONE（全長21.3m、54総トン）は、高速性（最大速力27.2ノット）と洋上風力発電施設への接舷性能に優れ、高波浪状況下でも安全かつ速やかにO&M要員の施設への乗降を実現させる特長を備えています。

当社は、本体およびグループでの既存事業の一つとして交通船事業に携わっておりますが、洋上風力発電アクセス専用船事業を新規事業と位置づけており、今後、研究開発と事業展開に取り組み、洋上風力発電オペレーション支援分野での貢献をしていきたいと考えます。

以上